

日本史B

単位数	3単位	対象学年	3学年	対象コース・クラス	看護・福祉・情報 調理・服飾
使用教科書	「詳説日本史B」(山川出版社)		副教材等	「詳説日本史図録」(山川出版社)	

1. 学習の到達目標

我が国の歴史と展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史に関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

1. 中間考査・期末考査の結果、提出物、授業中の積極的発言や作業への取り組み状況などを総合的に評価する。(評価の観点があることを考慮する。)
2. 収集した日本史Bについての諸資料を、客観性や公正さにも配慮した上で取捨選択して活用する。

3. 学習上のメッセージ

- ・授業で進む範囲については、必ず教科書を読んでおくこと。
- ・解説、授業内容と教科書の記述内容、板書事項、図表など、しっかりその都度照合しながら、授業中に理解しようと努めること。
- ・重要事項のみならず、欄外の補足も丁寧に読むと理解に役立つ。
- ・ノートの使い方を年度の冒頭の授業で説明するので指示に従う事。

4. 評価の観点・方法(年間の評定)

評価は次の3つの観点から行う。

知識・技能	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ○諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 (○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。)

このため、次の3観点を、記載の評価資料にもとづいてA、B、Cで評価する。

●知識・技能：定期考査、小テストなど

●思考・判断・表現：定期考査など

●態度：提出物、授業態度など

評定は、各観点の評価(A、B、C)にもとづいて、次のように算出する。

- ・AAA→5
- ・AAB→4
- ・ABB~BBB→3
- ・BBC~BCC→2
- ・CCC→1

1年間の評定は、年間を通じて、総合的に評価する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
第6章 幕藩体制の確立	1. 織豊政権 2. 桃山文化 3. 幕藩体制の成立 4. 幕藩社会の構造	・織豊政権をとおして統一されていく戦国社会の、新しい支配原理を理解する。 ・桃山文化における仏教色の一掃に留意する。 ・江戸幕府の支配の基本的仕組み、外交政策転換の背景を理解する。
第7章 幕藩体制の展開	1. 幕政の安定 2. 経済の発展 3. 元禄文化	・武断政治から文治政治への転換の背景を理解する。 ・江戸時代前期の経済発展の背景と具体的な成果について理解する。 ・政治の安定によって発展した経済力を背景とした町人が形成した文化の特徴を、人物や作品を通して理解する。
1 学期中間試験		
第8章 幕藩体制の動揺	1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化 3. 幕府の衰退と近代への道 4. 化政文化	・江戸時代中期の社会・経済の変化に、幕府や諸藩はどのように対応したか、またその結果について、理解する。 ・外国が日本周辺出現しはじめたことおよびそれが幕府政治へ与えた影響について留意する。 ・江戸時代後期の町人文化の特徴とともに、幕府支配への批判が出てきたことに留意する。
第9章 近代国家の成立	1. 開国と幕末の動乱 2. 明治維新と富国強兵 3. 立憲国家の成立と日清戦争	・外国の来日経過と、尊攘運動から討幕運動への転換を理解する。 ・明治新政府による近代化の過程を、廃藩置県や殖産興業等いくつかの重要用語を使って説明できる。 ・不平士族の反乱が自由民権運動へ転換し、民権運動も西洋思想の影響を受けなどして変化していることを理解する。 ・諸法典の整備や立憲体制の確立と条約改正の関係に留意する。
1 学期期末試験		
	4. 日露戦争と国際関係 5. 近代産業の発展 6. 近代文化の発達	・日清・日露戦争の国内政治等への影響と諸外国との関係を理解する。 ・近代産業形成の特質を理解する。 ・明治文化への外国文化の影響と、伝統文化との関係に留意する。
第10章 二つの世界大戦と日本	1. 第一次世界大戦と日本 2. ワシントン体制 3. 市民生活の変容と大衆文化 4. 恐慌の時代 5. 軍部の台頭 6. 第2次世界大戦	・第一次世界大戦の日本への外交的・経済的影響を理解する。戦争中、日本政府のとった政策に留意する。 ・大戦後の軍縮への動きと日本政府・軍部の動きに留意する。 ・大正デモクラシー・大衆社会の特徴に留意する。 ・世界恐慌打開への動きと軍部勢力の台頭、ファシズム化の動きの強化と太平洋戦争までの経過を理解する。
2 学期中間試験		
第11章 占領下の日本	1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講和	・アメリカの占領目的、具体的な施策、日本社会の変化と不変な部分に留意する。 ・冷戦の占領政策に与えた影響、西側社会に立った日本の独立達成と国連加盟への動きに留意する。
第12章 高度成長の時代	1. 55年体制 2. 経済復興から高度成長	・西側の一員として、経済復興に取り組み、高度成長を達成し、国際社会の一員として重要な地位を占めつつあること、他方で公害問題の発生等の負の部分をもつこと等を理解する。
2 学期期末試験		
第13章 激動する世界と日本	1. 経済大国への道 2. 冷戦終結と日本社会の動揺	・冷戦終結の過程、その後の世界の状況の激変等をふまえ、それらが日本の政治・経済・外交に与えた影響について理解する。

